

愛媛大学法文学部

第17号

通巻29号

2013.9

同窓会報



松山城と二之丸史跡庭園



愛媛大学法文学部同窓会事務局

〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学法文学部内 tel.089-917-6376 fax.089-917-6476 E-mail: aidai-houbun-dosokai@sings.jp
[PCサイト] <http://koyu.ehime-u.jp/houbun/blog/> [モバイル(携帯)サイト] <http://www.just.st/?in=308906>

目次

森会長ご挨拶……………	2
総会報告、新理事一覧・三役紹介…	3
学部長・事務課長インタビュー…	4
研究室紹介（総政・井藤先生）…	6
（人文・今泉先生）…	7
EHIME UNIVERSITY NEWS …	8
Photograph around Campus …	8
加藤理事 学部長就任……………	10
理事会報告・ドイツ図書展…………	11
退職された教員の方々……………	12
同期会・放送大学……………	15
提供講座・寄付科目 報告…………	16
ホームカミングデイ……………	18
卒業生から……………	19
支部だより……………	20
平成24年度卒業記念祝賀会 ……	22
パズル・編集後記……………	24



表紙写真

上：松山城と二之丸史跡庭園
右下：法文学部本館
左下：「ニュートンのりんごの木」の花
（バック：同窓会50周年記念時計）
ロンドンの国立物理学研究所に保存されている
ニュートンのリンゴの木の枝の分岐を受け、愛
媛大学創立40周年を記念して1989年に植樹。

題字：柴田 祐昭
（文理学部人文学科史学専攻・第8回卒）
[明楽寺住職・愛媛県美術会常任評議員・
県展審査員・毎日書道展審査員]

ご挨拶

法文学部同窓会会長 就任にあたって



愛媛大学法文学部同窓会会長

森 孝明（1968年文独卒）

この度、水口晃前会長の任期満了ご退任を受け、法文学部同窓会会長に就任いたしました。三役の経験はありませんが、幸い、小池昭彦副会長と鳥生勉歳事務局長が続投し、多くの理事も継続していただきますので、池川孝文新副会長及び新理事共々に協働の精神で、会の運営を進めていきたいと思います。会員の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

私は1968年3月に文理学部を卒業しましたが、その年の4月には法文学部に改組され、それから1977年に教師として教養部に帰って18年、そして法文学部人文学科に16年在職し、2011年3月に定年退職しました。しかしそれにとどまらず、同じキャンパスにある放送大学・愛媛学習センターに所長として勤めていますので、ずいぶん長い間愛媛大学にお世話になっております。法文学部同窓会も54年目を迎え、同窓会員は18,000名を超えており、会長は私で14代目となります。先輩諸兄姉が育てられ発展してきた同窓会のために、これから3年間微力ながら尽くして参りたいと存じます。

さて、同窓会の新体制は今年1月に始まり、1月24日に6年目を迎えた平成24年度同窓会提供講座が無事に終了し、世話をしてくれた学生さんや講師の方々と交えた反省会・懇親会も盛況のうちに閉じました。受講生は毎回先輩が社会でどのように活躍しているかを生の声で実感し、社会人への心の準備をしています。この講座は、同窓生を講師に任命して行われる全国的にも珍しい単位認定講座であり、講師は延べ150人を超えました。同窓会と母校との大変有意義な連携事業として、これからも続けたい企画ですので、講師としてのご参加をぜひお願いいたします。

同窓会は理事会を中心に総会の開催、会報の発行やホームページの開設、支部活動など多彩な活動を通じて、会員相互の親睦を深めるとともに、法文学部と密接な連携を保ってその発展に資することを目的としています。厳しい社会情勢の続くなか、大学と同窓会と学生が三位一体となる活動がますます重要になっています。関東、関西、広島、四国支部はいずれも活発な活動を展開しておられますので、各支部と連携をより密にしながら、就職などの学生支援にもより一層の協力を進めていきたいと考えております。

会員の皆様のますますのご活躍を祈念いたしますとともに、同窓会活動へのご参加とご協力をお願い申し上げます。

愛媛大学法文学部同窓会 第13回総会・懇親会 報告

水口会長体制(任期3年)の集大成となる総会を開催しました。総会の後、愛媛大学ミュージアムを見学、大学会館2Fで懇親会を行い親睦をはかりました。

日 時：2012年11月17日(土) 15:15～18:30

会 場：愛媛大学法文学部大会議室ほか

出席者：73名

総 会

報告事項

会員数の動向、決算・予算報告、支部活動報告
理事会開催報告、3年間の事業活動のまとめ

審議事項

次期3年間の重点課題と事業活動方針、役員改選

採 決

新会長挨拶

愛媛大学ミュージアム見学

懇親会

支部活動報告

新三役・新理事紹介

ビンゴゲーム ほか

学歌斉唱・応援 ほか



新理事一覧・三役紹介

会 長	氏 名	卒業年	勤務先	
会 長	森 孝 明	1968文独	放送大学 愛媛学習センター長	新任
副 会 長	小 池 昭 彦	1970文経	元 (株)レディ薬局 監査役	
	池 川 孝 文	1972 法	元 財団法人愛媛県母子寡婦福祉連合会	新任
事務局長	鳥 生 勉 歳	1989 文	アマノ印刷 出版部	
理 事 【法】 (事務局)	西 田 和 眞	1973 法	税理士	
	久 保 泰 敏	1974 法	愛媛大学 法文学部人文学科事務室	
	竹 本 道 代	1978 法	愛媛県庁 研修所長	新任
	酒 井 悦 男	1979 法	(有)えひめ保育企画	新任
	山 本 陽一郎	1981 法	南海放送(株) 企業文化局文化事業部	
	辻 正 道	1982 法	(株)フジ 店舗開発部 部長	
	藤 田 育 子	1982 法	幸法律事務所	新任
	赤 松 英 輔	1990 法	愛媛新聞社 メディア推進局画像部 副部長	
	野 寄 明 子	1993 法	五葉法律事務所	
	野 本 学	1996 法	JA愛媛中央会 総務企画部	新任
理 事 【経】 (事務局)	新 谷 正 信	1965文経	医療法人グランセル佐藤実病院 事務長	新任
	松 本 弘 泰	1970文経	松本塾	
	安 永 博 邦	1973 経	社会福祉法人松山市社会福祉事業団	
	吉 野 隆 彦	1977 経	松山市役所市民部長	新任
	玉 井 周 平	1978 経	アイサービス・玉井事務所	
	高 田 敬 士	1980 経	(株)ユーミーケア 取締役業務本部長	新任
	渡 部 雅 泰	1985 経	クレストデジタルズ(株) 代表取締役社長	新任
	馬 越 祐 希	1986 経	愛媛県庁 産業支援局産業創出課 主幹	
	黒 河 安 徳	1986 経	JA愛媛中央会 農政担い手対策部 次長	新任
	杉 田 栄 治	1987 経	愛媛県庁 公営企業管理局新中央病院整備室 主幹	
理 事 【文】	土 井 明 人	1998 経	(株)アサヒジム 専務取締役	新任
	後 藤 珠 希	2006総政	オフィスラブリ	
	廣 田 章 子	1966文国	済美高等学校 講師	
	穂 岡 謙 治	1968文地	聖力タリナ高等学校 講師	
	加 藤 好 文	1975 文	愛媛大学 法文学部人文系学部長	
	山 本 求	1979 文	大学生協中国四国事業連合 常務理事	
	安 藤 あさみ	1979 文		
	松 本 長 彦	1981 文	愛媛大学 理事・副学長(法文学部教授)	
	村 上 和 恵	1989 文	愛媛大学 総合健康センター	
	小 林 紀 子	1989 文	愛媛県立みなら特別支援学校	
監 事	和氣坂 ハナミ	1996 文		
	熊 谷 広 行	2001 院	済美平成中等教育学校	新任
	高 谷 宗 武	1966文法	愛媛県職業能力開発協会	
	畠 中 節 男	1979 法	(株)いよぎんコンピュータサービス 代表取締役	新任



副会長
小池 昭彦



副会長
池川 孝文



事務局長
鳥生 勉歳

宮崎法文学部長 (総合政策系担当学部長)

井上事務課長 に聞きました



宮崎幹朗法文学部長

1985年愛媛大学法文学部へ赴任。愛媛大学地域創成研究センター長を経て今年度、法文学部長に就任。

井上俊彦事務課長

1973年愛媛大学庶務部人事課に就職。経営企画部広報室長を経て今年度、法文学部事務課長に就任。

聞き手：野寄明子

法学科卒（平成5年）



宮崎幹朗法文学部長

野寄：今日はよろしくお願ひします。

実は、私は20年ほど前に宮崎先生のゼミ生でした。先生がちょうど教授になられた頃です。先生があまりにもお変わりないので、驚きました。

学部長：下のお名前は、明子さんでしたね。

野寄：はい！覚えておられるんですか！ありがとうございます。

えー、それでは質問に入させていただきます(笑)

野寄：宮崎先生が愛大に赴任されてから28年、かなり長いんですけども、この間に大学や学生はどのように変わったと感じられますか？

学部長：大学はもう、非常に変わりましたね。以前はグラウンドもありましたけど、それがなくなって建物も増えたり建て替えたり。大学らしくなった、ということですかね。

事務課長：でも、グラウンドがなくなったというのは、学校施設としてはちょっと機能低下ですね。

学部長：まあ、街に近い大学なので施設を増やそうと思ったら、しょうがないですね……。

たしかに、体育などに影響が出ました。テニスとか体育館を使用する種目がメインになってますね。

野寄：「大学らしくなった」とは、どの辺が……？

学部長：学問の場……という感じになったということですかね。

野寄：なるほど。では、学生はどうでしょうか。雰囲気とか気質とか勉学への態度とか、何か変化は感じられますか？

学部長：経済的な問題のせいでしょうけど、今、ほとんどの学生がアルバイトをしています。昔はこれほどではなかったように思うんですけど。だから、アルバイトに時間を取られてしまって、勉強の時間を確保することが厳しいようです。

その代わり、学生が外向きになっているとは感じられます。自分の興味のあることに関してはどんどん外に出て活動していますね。ボランティアとかです。

野寄：私の学生時代は、ボランティアをしている学生はほとんどいなかったように思うんですが、今は盛んなのでしょうか。

学部長：結構、関わっている学生がいますね。教員の中に社会的な活動をしている人もいて、興味を持った学生と一緒にボランティアをしたりすることもあります。

野寄：人のために働くという奉仕の精神にあふれた学生が増えてるんですね。

学部長：(笑)。人のためにというのもあるんでしょうけど、



井上俊彦事務課長

いろんな活動を通じて自分を高めていきたいとか、大学だけではなく、本で学ぶ以外の学びをしたいという意識が強くなっていると思います。

事務課長：学生のサークルとは少し違うのですが、愛媛大学が公認するボランティア団体「スチューデント・キャンパス・ボランティア（SCV）」というのがあって、大学がその活動を全面的に支援しています。それで、かなり多くの学生がボランティア活動に関わることとなっているのですが、このSCVには、障がいを持つ学生への支援、外国から来ている留学生への支援、また本学図書館への運営支援など9つのボランティア団体があって、それぞれのジャンルや場所で元気に活躍しています。

野寄：ボランティア活動が単位に結びつくような大学もありますけど、愛媛大学では？

学部長：まだそこまでは、言ってないです。

野寄：一昨年から、法文学部を2つに分けようという動きがあって、でも文科省の許可が下りなくて実現していないそうですが、その後どうですか？

学部長：今は止まっています。学長としては文系学部を再編したいという意向があって、それにあわせて動いていたのですが、ほかにもいろいろ問題があってストップしています。まったく終わってしまったわけではないですが、しばらくは様子見……という感じです。

野寄：景気が上向きになってきたと言われてますが、大学・学生へ影響は出ていますか。就職状況などは。

事務課長：まだ影響は出てないですね。出るとしても、26年卒の学生からでしょう。今年卒業した学生の就職率は、去年の学生とほぼ同じでした。ただ、就職支援課職員の感触としては、ちょっと上向きなのかな～、ということでした。



野寄：学生の就職先の傾向も、あまり変わらないですか？

学部長：やはり金融機関と公務員の希望が多いです。

事務課長：今年、法文学部では就職支援の充実に取り組んでまして、就職支援課を退職されたベテラン職員に再登場いただき、法文学部の学生の就職相談に乗ってもらっています。また、就職支援課では、卒業して2～3年たって転職したいという卒業生のご相談にも応じていますので、このことは、会員の皆さんに、是非ご紹介いただきたいですね。

野寄：最後に、同窓会への要望がございましたら、お聞かせください。

事務課長：同窓会の支部は全国の主要な地域にあり、会員の皆さんも老若男女、バリバリ走り回っていっぱい汗をかいて働いておられる方、どっしりと構えて管理・運営部門の仕事をしている方など、いろいろな方がいろいろなところで活躍されていると思います。出来れば支部のある地域の動きや最新情報を発信していただきたいですね。

野寄：具体的には、どんな情報が？

事務課長：やはり、就職情報ですね。その地域の最新の情報をいただけたら、ありがたいです。

野寄：宮崎先生からは、何かございませんか。

学部長：やっぱり、母校に興味を持ってほしいですね。昔とだいぶ変わってますし、構内も整備されてきれいですし、遊びに来てください。

野寄：本日は、お忙しい中、ありがとうございました。

(2013.5.30)



野寄明子

研究室紹介

総合政策学科

井藤 正信 教授

マネジメント講座

お隣の香川県に本籍がある井藤先生。石川県で教鞭を執っていた38歳の頃、理事長の大学経営方針に疑問を抱いて新天地を探していたところ、愛媛大学の公募を知り応募したそうです。「同じ四国なので親近感があった事も要因です」と井藤先生。愛媛大学の学生気質については、「真面目で都会のようにすれていないところがいいですね」。大学については「国立大学は事務方の人が3年ほどで異動するので、最初は戸惑いました。異動が頻繁なため、過去には事務方と教員は時折意思疎通を欠くことがありました」と語られますが、国立大学法人になってからはかなりよくなってきたようです。

ご専門はドイツ企業経営の研究で、現在のゼミ生は3回生から5回生まで計16人。地元愛媛の出身が半数以上で広島・岡山出身の学生も多いようです。後期からは2回生が7人入ってくる予定ですが、昔と違い、今は女子学生のほうが少し多いそうです。「女子学生のほうが元気です。男子学生は生物学的に弱いんでしょうかね」。かつては就活時期になると、研究室に出てこないで「フリーターやります」などと、就職を諦める男子学生もいたとか。頻繁に研究室を訪れる学生の方が就職が決まる率は高いそうです。

学生の進路は銀行、公務員、小売、メーカーなどで、取材にお伺いした6月上旬には公務員志望の学生を除いてほぼ就職が決まっていました。



↑ゲッティンゲン大学でドイツ企業経営研究に従事していた頃。訪れた大学事務の人達とベルリンのシンボルであるブランデンブルク門の前で撮影（1996年）



昭和26年	香川県丸亀市生まれ。小学校時代は福岡県福岡市と飯塚市、中学・高校は山口県宇部市で過ごす。
50年	明治大学経営学部卒業
63年	明治大学大学院経営学研究科博士後期課程単位取得退学
//	七尾短期大学専任講師
平成3年	愛媛大学法文学部講師
5年	// // 助教授
8年	ドイツ・ゲッティンゲン大学においてドイツ企業経営研究に従事（6か月間）
12年	愛媛大学法文学部教授
14年	博士（経営学）号取得

趣味

囲碁、将棋、鉄道模型、切手収集、スキー、キャンプ
「キャンプは毎年家族で出かけています。山のよい空気を吸ってのんびりするのは至上の喜びです」

井藤先生研究室 089-927-9258

E-mail: itotok@LL.ehime-u.ac.jp



↑ICE（ドイツ版新幹線）の前で息子の悠太君（当時5年生）と撮影（2011年）

卒業生に一言

女子学生は「子供が生まれた」など近況報告をしてくれる卒業生が多いのですが、男子学生はあまり連絡がありません。電話やメールでいいので、いつでもウエルカムです。

人文学科

今泉志奈子准教授

言語文化欧米系コース

現在のゼミ生数 男7人・女23人(うち留学生1人) 計30人

兵庫県出身の今泉先生。友達や親戚がだれ一人いない愛媛に来て約10年。今では先生の研究室は今時の学生たちに非常に人気があるとか……そんな先生の研究室にお邪魔し、先生から見た最近の学生についてお話を伺いました。



Q大学の先生とは思えないとても綺麗な

な今泉先生。思わず先生の容姿に目がいてしまいました。が、何か気にかけていらっしゃいますか？

A 意図的にこの風貌にしているのですが、まず、髪の毛の色を金髪にしているのは顔が明るく見えるから。そして、ベリーショートは、眉が見え顔の表情がはっきりと伝わるので、学生さんが安心するから。表情が大きいのは口が大きい事もあるんですが(笑)、10代後半に芝居や音楽の勉強をしていたので、身振り手振りが大きいし、声も大きい。今の学生たちは全方位的に気を遣って生きていると感じます。もし授業で聞こえない事があったら、「聞き取れなかったのは私だけ？集中力が無かったのは私だけ？がやがやしている友達に注意をすると自分だけぼっかりと浮いてしまうかも……」なんて、日々小さな不安・見えないストレスを溜めていくんです。ところが、突然に、予想外の容姿の人間が現れると、怖いものみたさで(笑)、石像のようになってこっちを見てくれます。これは、1回目の授業での大きな勝負です。彼らが私に興味を持ってくれている間に「大丈夫」ということを伝えられたら、2回目からは、少し楽な気持ちで授業に来る事ができるようになります。

Q先生の研究室には多くの学生たちが入りたいと希望してやって来ていると聞いたのですが、先生自身はその点どう感じていますか？

A もし、何かひとつ、学生たちが魅力を感じてくれているとすれば『安心感』かな。彼らはとても頑張りやさんで、だからこそ、不安の塊でもあります。自信がないのではなく、慎重で失敗が怖い。思いっきり無茶をしていないし、親や先生をがっかりさせたこともない。いつ失敗するか、いつ踏み外すか、踏み外すくらいなら、無難に当たらず触らずにいた方が良くないじゃないかって。でも、自由に行っている人がやっぱりうらやましいと思っているのが彼らの大きな共通点なのかなと思います。もちろん、100人いたら100通りの事情があるので、とてもひとまとめには出来ませんが、これが今の大きな流れだという気がします。だからこそ、はっきり口に出して「失敗しても良いか

ら」と授業中に言うんです。それも大きく言ってしまうと引いてしまうので少しずつ小出しにし

て(笑)。もうひとつ大切にしているのは、居心地のよさと楽しさ。次が気になるようなところで授業を終えると、続きが気になる。勢いで2、3回授業に出ているうちに休むのが勿体ないような気がしてきて、5～6回目に、なんかこの授業が好きかもと思ってくれたら何より。「私、好きな科目がある!! アクティブに授業を受けている」と感じられたら、少しずつ生活にリズムができてきて、居心地が良いと思ってきているのかもしれないね。

Q先生のゼミ生で殻を破って化けた生徒っていますか？

A 単身で海外に出た子など、たくましい子たちがたくさんいますが、よくそこまで!! と思ったのが、ある夜間主の男の子です。

昼間現場で働いて直行で授業に来る事が多かったので、地下足袋で、肩から袋を提げて土だらけで現れるんです。ある日研究室に「先生、なんか食べるものないっすか？」と切羽詰まった様子で現れました。聞くと、授業で紹介した本があまりにも面白かったので、それを自分で買ってしまった。そうするとお金が無くなってしまって、3日間、水しか飲んでいないと言うんです。

だからといって、いつもお弁当を買ってあげたりしたら、彼は私に負い目を感じるでしょう。そこで、彼の早番の日にお弁当付きの読書会をしようという提案しました。マンツーマンでやるので力がついてきて、英語で卒論も書き、結局大学院まで進み優秀な成績で卒業しました。就職後も職場で活躍し、現在は引き抜かれた企業で「先生、頼られるって楽しいっすね!」と、充実した生活を送っているみたいです。ゼミ生は本当にみんな可愛くて大切ですが、彼も可愛くて仕方が無い学生のひとりですね。

Q最後に同窓生の皆さんに一言お願いします。

A まだ10年なんですが、この10年、学生たちは何も変わらないんです。ゼミ1期生の学生と、現在の学生は根っこ部分がそっくり。響き合うところがたくさんあって、きっと彼らは会えば10分で友達になれるでしょうね。人を押しのけてまで何かをするのは苦手かもしれませんが、時間がかかっても自分の思った事を誠実に伝える事ができる点が、愛大生の共通点だと感じています。私自身、これまで、学生さんたちの心の美しさに幾度となく助けられました。卒業生と現在の学生、見た目がいくら違っていても、流れるものは同じ。どうぞ「安心」してください。



↑ 研究室に飾ってあった学生からのメッセージ
↑ イングランド湖水地方にて、夫(井上彰)と
法文学部人文学科准教授と

愛媛大学ミュージアムが開館3周年、来館者は10万人を突破しました

愛媛大学ミュージアムは、平成21年11月14日に一般公開を開始し、このたび開館3周年を迎えました。来館者数が累計10万人を突破するなど、地域の方々に親しまれてきました。これからも、本学と地域のコミュニケーションの拠点として、学術研究活動への興味・関心をもっといただけるよう、常設展示のほか、魅力的な特別展・企画展等を開催していきます。

皆様のご来館、お待ちしております。

愛媛大学ミュージアムホームページ

<http://www.museum.ehime-u.ac.jp/>



▲平日も学生スタッフがガイド役を務めています

第9回 留学生日本語スピーチコンテストin愛媛2012において、本学の留学生が最優秀賞を始め優秀賞、特別賞を受賞しました

南海放送本町会館で午後1時から開催されたコンテストに、本学からは10人の留学生が参加し、法文学部の鄭琳（テイ・リン）さんが最優秀賞を、MERVE DAG（メルベ・ダー）さんが優秀賞を、工学部のNGUYEN VAN TIEN（グエン・バン・ティエン）さんが特別賞を受賞しました。

今回の大会には県内の大学、短大から7か国32人が参加し、午前8時30分から行われた予選を通過した12人が午後の本選で発表を行いました。本選の様子は南海放送ラジオと愛媛CATVで同時生放送されたほか、南海放送のホームページからWebで全世界にLIVE配信されました。

留学生達は日本での生活や文化の違い、日本で触れた暖かい人情などを題材に流暢な日本語で発表し、スピーチに込められた情感やユーモアに、参加した約100人の聴衆は涙あり笑いありのひとときを過ごしました。



◀清水史副学長・国際連携推進機構長による開会挨拶



▲発表の様子



▲出場者のみなさん



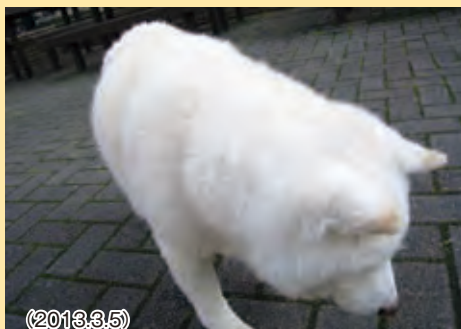
▲田中和彦審査委員長から最優秀賞の授与

Photograph around Campus

ハナちゃん情報



(2013.3.5)



(2013.3.5)



城北キャンパス北西隅に建設された立体駐車場

松山市が主催する「第14回 学生による政策論文」 において、本学学生が優秀賞等を受賞しました

平成24年11月30日(金)、坂の上の雲ミュージアムにおいて、松山市が主催する「第14回学生による政策論文」の入賞者発表及び表彰式があり、農学研究科修士課程1年 農業経営学研究室・田口瑞季さんが優秀賞、法文学部総合政策学科3年山住美咲さん・沖村有花さん・門屋明日香さん(共著)が佳作、法文学部総合政策学科1年高木悠司さんがアイデア賞を受賞しました。

松山市政策論文募集事業は“一人でも多くの人を笑顔に 全国に誇れる、わがまち松山”を実現するため、学生がまちづくりや行政に関心をもち、その提案をまちづくりや市民生活の向上に生かすことを目的として、アイデアや意見を募集するものです。

本年度は、161件の応募の中から、最優秀賞1人、優秀賞2人、佳作2組、アイデア賞2人が選ばれました。

優秀賞を受賞した田口さんは、「生ゴミを利用した資源循環型都市構想～松山市農業活性化を目指して～」と題した論文で、市内で廃棄される生ゴミを堆肥化し環境保全型農業を推進することで、松山市の農業を守り松山市農業活性化に繋げる提案を行いました。

また、佳作を受賞した山住さん・沖村さん・門屋さんは、「撮り尽くせ！松山の魅力ーフォトバンクシステムの導入ー」と題した論文で、市内の魅力的な写真を市民や観光客が携帯電話やパソコンから積極的に発信できる仕組みを作り、松山市の観光情報の充実と新たな魅力の発見を図るといった提案です。

そして、アイデア賞を受賞した高木さんは、「松山城地下駐車場建設ー松山城の地下利用ー」と題した論文で、松山城の地下を駐車場として有効利用し、さらにその駐車場に付加価値を付けることで、松山城周辺の活性化に繋げていくという提案です。

表彰式では、野志克仁市長から直接賞状が手渡され、「提案を今後の市政やまちづくりに積極的に活かしていきたい」との話がありました。



▲受賞した3人を囲んで記念写真（後列は指導された教員と柳澤学長）

図書館のイメージキャラクター 2作品が決まり、 図書館で表彰式を行いました

最優秀賞には、法文学部4年札本結和さんが考案した「アイダさん」（ひげを蓄えた老紳士風キャラクター）が、また優秀賞には、同4年橋本悠美さんが考案した「ひめわん」（本をくわえた犬のキャラクター）が決まりました。

表彰式では、赤間道夫館長から発案者の2人に表彰状と記念品が贈呈されました。

これらのキャラクターは、学生と教職員に公募した25作品から選ばれたもので、今後、図書館のPRに積極的に活用していく予定です。



▲赤間館長から最優秀賞の札本さんへ表彰状授与



▲左から橋本さん、赤間館長、札本さん



改修工事が完了した愛媛大学本館棟



坂村真民記念館（2012年3月オープン、砥部町）



「念ずれば花ひらく」の詩を刻んだ碑

新入生歓迎ハリボテコンテストを開催しました

この行事は、新入生に少しでも早く大学生活に慣れてもらい、親睦・交流を深めることを目的に、毎年開催されています。

当日は素晴らしい晴天に恵まれ、会場となった多目的広場には総勢800人を超える出場者のほか多くの観客が集まり、コンテスト開始前から熱気に包まれていました。今年は全6学部から合計18チームのエントリーがあり、各チームとも連日連夜遅くまで時間をかけ、丹精込めて制作したハリボテを担ぎ、5分間の限られた時間の中で、アイドルグループやアニメの主人公、人気のゆるキャラたちになりきり、息の合ったパフォーマンスを繰り広げ、会場からは笑いと賞賛の拍手が沸き起こっていました。

コンテストは、ハリボテの完成度と5分間のオリジナルパフォーマンスをそれぞれ100点満点で審査した合計得点により順位が競われました。ハリボテとパフォーマンスのそれぞれで評価の高かったチームへ、ハリボテ賞、パフォーマンス賞が贈られました。

審査発表後も学生たちの熱気と歓喜の余韻は冷めず、これから始まる大学生活への希望を胸に、やり遂げた充実感で輝いていました。



◀ 数々のハリボテと元気な学生たち

【審査結果】

優勝	工学部応用化学学科チーム
第2位	理学部前半チーム
第3位	法文学部総合政策学科1班チーム
ハリボテ賞	工学部機能材料工学科チーム
パフォーマンス賞	法文学部総合政策学科3班チーム

東温市の佐古ダムで、第49回学内ボートレース大会を開催しました

この大会は、学生を中心に教職員も参加して開催されるもので、今回は男子20チーム、女子6チームの総勢26チームが参加しました。ボートを漕ぐのが初めてというメンバーも多く、短時間の練習でオール捌きのコツを掴もうと苦戦していました。

開会式では、松田正司学生支援センター長から「ここまで学長チームは3連覇を達成しているが、今回は何としても学生チームに学長チームの4連覇を阻止してもらいたい。」と激励があり、全員でシュプレヒコールをあげて、試合への気合いも高まりました。その後、アカペラオレンジの濱田悠司さんから力強い選手宣誓、ボート部の田部寛さんから競技説明があり、レースが開始されました。

女子の部では、文化系のアカペラオレンジの「ペラ女①」が男子チームの中に入っても遜色ない好タイムで優勝しました。

そして、男子決勝の最終レースは、4連覇を狙う学長・職員チームの「えみかダンディーズ」と、予選1位通過の「スキューバダイビング部①」の対戦という組み合わせとなりました。レースは白熱した大接戦となり「スキューバダイビング部①」が僅かに「えみかダンディーズ」を振り切って優勝し、ついに学生チームが学長チームの4連覇を阻止しました。

表彰式では、男女ともに優勝チーム以下、3位までの各チームに賞状と図書券が贈呈されました。西日の差す湖面を背に、すっかり日焼けした参加者は、互いの健闘を讃え合い、来年度への決意も新たにしていました。



▲男子優勝の「スキューバダイビング部①」(右)と2位の学長率いる「えみかダンディーズ」



▲女子優勝チーム「ペラ女①」の力強いレース



▲選手宣誓をするアカペラオレンジの濱田さん

【男子チーム】

優勝	スキューバダイビング部①	1分56秒22 (スキューバダイビング部)
2位	えみかダンディーズ	2分00秒12 (学長・職員チーム)
3位	二宮漕会	2分01秒20 (航空力学研究会)

【女子チーム】

優勝	ペラ女①	2分03秒61 (アカペラオレンジ)
2位	E.S.S.-B	2分24秒98 (E.S.S.)
3位	スキューバダイビング部	2分32秒37 (スキューバダイビング部)

加藤理事が法文学部長(人文系)に就任



前任の黒木学部長に替わり、2013年4月から2年の任期で加藤好文教授が就任されました。法文学部は現在、総合政策学科と人文科学の2学部体制を採っているため、1年目の今年は人文系担当学部長(代表学部

長は総合政策学科の宮崎幹朗教授)で、2年目が系担当と併せて法文学部長となります。

加藤理事のコメント

「学生と接し研究に没頭する時間が減る事は残念ですが、教職員のご協力を得ながら、法文学部卒業生として母校の発展のために職務を全うしたいと思います。同窓会の皆様にもご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます」

愛媛大学法文学部同窓会理事会報告

2012年度 第2回(通算第57回)理事会

日 時: 2012年10月12日(金) 18:00 ~ 21:00

場 所: 愛媛大学法文学部大会議室

出席者: 22名

【報告事項】

1. 2012年度・法文学部同窓会提供講座「社会と人間」
2. 2012年・第16号同窓会報発行
3. 支部総会等報告と予定
4. 大学関係行事報告、会長会・校友会理事会予定
5. 第3回ホームカミングディについて

【審議事項】

1. 都築監事に替わり畠中さんの就任を提案
2. 次期理事交替について
3. 総会の日程・出席者等について → 全て承認されました。

2012年度 第3回(通算第58回)理事会

日 時: 2013年2月15日(金) 18:00 ~ 21:00

場 所: 愛媛大学法文学部大会議室

出席者: 28名

【報告事項】

1. 2012年度・法文学部同窓会提供講座「社会と人間」報告
2. 2013年・第17号同窓会報編集委員会
3. 支部総会・会長会など報告と予定
4. 第3回ホームカミングディ報告
5. 新理事名簿確認

【審議事項】

1. 2012年度決算(暫定)・2013年度予算案について
2. 会報への放送大学・学生募集の掲載について → 全て承認されました。

2013年度 第1回(通算第59回)理事会

日 時: 2013年6月14日(金) 18:00 ~ 21:00

場 所: 愛媛大学校友会館2階サロン

出席者: 28名

【報告事項】

1. 2013年度・法文学部同窓会提供講座「社会と人間」

2. 法文学部 卒業・入学人数

【2013年3月 卒業生】

総合政策学科	昼間主284名	夜間主73名	計357名
人文学科	昼間主130名	夜間主56名	計186名

【2013年4月 新入生】

総合政策学科	昼間主291名	夜間主82名	計373名
人文学科	昼間主133名	夜間主68名	計201名

3. 支部活動・会長会など報告と予定

4. 2013年・第17号同窓会報の進捗状況

【審議事項】

1. 2014年度法文学部同窓会寄付科目・提供講座の開講について
2. 2013年度提供講座懇親会について
3. 12年度決算報告および承認
 - 1) 収入は新入生会費562万円、利子収入1万7,252円、総会収入(四国支部負担金含む)27万2,500円、計590万9,752円。
 - 2) 支出は事務局手当96万円、支部活動費229万7,438円、会報発行経費304万413円、学部学生就職支援85万9,767円など、計886万200円。
 - 3) 5月15日(水)に、高谷監事と畑中監事により監査を行いました。
4. 13年度の事業計画
 - 1) 同窓会報は、同窓会員への大学紹介や会員相互の情報交流の場として、毎年1回の発行を行います。同時にホームページの充実を図ります。
 - 2) 支部活動の活性化を重視し、会長・副会長を中心に各支部総会へ出席して交流を深めるとともに、支部長会議を開催します。
 - 3) 7年目を迎える「提供講座」を充実させます。各分野の講師との交流を深めるだけでなく、現役学生とのつながりを広げます。
 - 4) 同窓会名簿の精度を高めます。
 - 5) 日常の活動強化の基本となる、明るく活発で民主的な理事会運営に努めます。
5. 宮内理事に替わり吉野さんの就任を提案
6. 会報発送時の名簿データ委託契約について
7. 青島守備軍司令部寄贈ドイツ図書展への協力について → 全て承認されました。

法文学部同窓会がバックアップ! (協賛)

愛媛大学ミュージアム企画展

松山高等学校(愛媛大学)草創期の歴史発見 — ドイツ図書384冊展 —

期間: 平成25年11月17日(日)~12月23日(月)

場所: 愛媛大学ミュージアム(松山市文京町3)

芸予地震(2001年3月24日)で書棚から崩れ落ちた書籍の中から、青島守備軍司令部寄贈のドイツ図書が発見されました。そのドイツ図書と関連資料を展示します。第1次世界大戦という国際情勢のなかで書籍を収集した松高初代校長・由比質の苦勞、学校草創期の人々の意欲やエネルギー、書籍のもつ歴史的・文化的意義を発信するとともに、草創期の旧制松山高等学校(愛媛大学)の歴史を認識し、ドイツ・日本を結ぶ平和へのメッセージを伝える機会となるでしょう。



講演会のご案内

日 時: 2013年11月17日(日) 13:00~16:00

場 所: 愛媛大学南加記念ホール

テーマ: 日独戦争と日本に來たドイツ兵俘虜

講 師: 瀬戸武彦 高知大学名誉教授

テーマ: 日独戦争にまつわるドイツ図書と松山高等学校
初代校長由比質の苦勞

講 師: 森孝明 放送大学愛媛学習センター所長、愛媛
大学名誉教授、愛媛大学法文学部同窓会会長

問い合わせ先 愛媛大学ミュージアム TEL 089-927-8293 10:00~16:30(火曜休館)

退職された教員の方々



山川廣司先生

- ① 平成9(1997)年
- ② 法文学部人文学科
- ③ 西洋史

出生 昭和22(1947)年

最終学歴 明治大学大学院文学研究科博士課程
(1977年単位修得退学)

学位・称号 文学修士

所属学会 史学会、歴史学研究会、日本オリエント
学会、日本西洋史学会、歴史学会、中国
四国歴史学地理学協会 ほか

1997年4月に前任の北海道教育大学から愛媛大学法文学部に赴任し、爾来15年間勤務しました。大学では人文学科で西洋史教員として前近代史(古代・中世)を担当しました。また私の専門は古代ギリシア史で、研究内容は2つに大別されます。第1は、大学で古代ギリシア史研究を志し、1952年に解読された線文字B粘土板文書を史料にミュケナイ期のピュロス王国を中心とする社会経済史の研究で、第2は、愛媛大学法文学部に赴任して暫く経った2000年に、2004年からの大学の独立法人化に向け地域に関わる研究の推進が求められた時から始まった共同研究「四国遍路と世界の巡礼」プロジェクトに参加し、宗教・心性史に関わる研究です。そこでは古代ギリシアの巡礼を研究課題とし、ミノア期のクレタ島やミュケナイ期のギリシア本土に展開したエーゲ文明期の民間信仰と国家宗教への変容、王権と宗教の関わり、古典期以降エピダウロスやデルフォイ、オリンピアで行われた巡礼活動、さらに専門分野ではありませんが、ヨーロッパ中世のイエルサレム巡礼、ローマ巡礼、サンティアゴ巡礼、そしてフランスのルルドなどの現代の巡礼にも関心を向けることで、研究領域を拡げることができました。

愛媛大学では少人数教育の利点を生かし、授業を通して学生たちと密に接しながら指導することができました。また講義以外でもゼミ研修合宿や直にヨーロッパ文化に触れようと実施した研修旅行、コンパなどの機会に一緒に行動することで普段知り得なかった学生の多様な側面を垣間見、認識を新たにすることも多々ありました。これまでご芳情いただいた全ての皆様に心からお礼申し上げます。最後に愛媛大学同窓会のますますの発展を祈念致します。



木下 卓先生

- ① 昭和55(1980)年
- ② 法文学部人文学科
- ③ 英米文化

出生 昭和22(1947)年

最終学歴 立教大学大学院文学研究科(1976年修了)

学位・称号 文学修士

所属学会 日本英文学会、日本英文学会中国四国支部

私が愛媛大学に赴任したのは1980(昭和55)年の10月1日でした。中学校から大学院までずっと私学の自由な校風のなかで学んできた私にとっては、国立大学は事務手続きひとつをとってもなんと面倒くさい(正直なところ、鬱陶しい!)世界で、堅苦しく感じ、この雰囲気にも馴染んで埋没してしまうなら、一地方文化人として自分を狭い世界に閉じ込めてしまうことになってしまいそうだという警戒心を抱いたのを覚えています。

32年半務め終えた今となっては、赴任時にこうした想いを抱いていたがために意識的に全国の他大学の研究者たちと積極的に交わり、そのおかげで数々の共同研究が可能となったり、思ってもみなかったような仕事もできたのでしょう。しかし、一地方大学にいたからこそ全国を概観することができ、全国レベルの研究にも参画できたのだと思います。東京の大学の著名な研究者からこう言われたことがありました——「地方にいて、東京にいる僕らが見落としてしまう本を見つけたり、気づかない視点を持つことができるんだね」。

法文学部を卒業されて久しい同窓生の皆さんの目に現在の母校はどう映っているのでしょうか。在学された時代とは、学生の気質、教養のレベルなど驚くほど大きく変わっていますが、時代の流れのなかでの変化・変質は抗い難いものなのでしょう。遅かれ早かれ、大学での教育・研究をリセットしなければならなくなる時期が訪れるはずで。

まだ卒業して何年も経っていない卒業生の皆さんは、一地方大学で学んだことの強みを十分に活かしていてほしいと希っています。



本田博利先生

- ① 平成13(2001)年
- ② 法文学部総合政策学科
- ③ 地方自治、環境、まちづくり

出 生 昭和23(1948)年
出身大学 京都大学
最終学歴 京都大学法学部 (1970年卒業)
学位・称号 学士
所属学会 日本公法学会、都市住宅学会

本年3月末をもって、43年の長い勤めを終えて、ようやくフリーになりました。民間会社から広島市役所に移り、30年の公務員勤務を経て、愛媛大学に11年半お世話になりました。2001年の春に採用の面談のため愛媛大学を初めて訪れ、法文学部棟の玄関わきに“ハナちゃん”の段ボールハウスを見て、“いい大学にきたものだ”と感動したことを昨日のように思い出します。(ハナちゃんは、事務の富田さんのおうちで元気で暮らしています)

講義では「地方自治法」「環境法」「都市法政策」、そして共通教育での「日本国憲法」を担当しました。これらはいずれも学生が卒業して社会に出てから、つまり、有権者、納税者、市民となってから真に必要なかつ不可欠な知識であることは、今の決して“豊か”とはいえない世の中を見渡せばお分かりいただけるでしょう。

少人数(6~7人)で2年半(夜間主は1年)の恵まれたゼミ環境の下、100人以上のゼミ生を社会に送り出すことができました。本田ゼミでは、①卒論の早期着工、②松山市の学生による政策論文への応募、③宮前川の河川清掃を義務づけました。①では、就活に入る前には資料収集と論文の骨子を作成済みなため、就職が決まり次第再開し、長期にわたるゼミ活動のそれぞれ「卒業」論文とすることができました。②では、フィールドワークや新入生セミナーの学生も巻き込んで“総力戦”で臨み、10年連続で受賞(1年はお休みだが翌年2名が受賞して挽回)できました。③では、かつての大学の北側を流れる草ぼうぼうの宮前川を知る人には目を見張るまでに清流を取り戻すことができました。今年度からは学内の環境ボランティア団体に引き継いでいただきました。このほか、春休みの倉敷・直島研修旅行や、北海道、沖縄への卒業旅行も楽しい思い出です。

最後に、卒業生の皆さんのお元気なご活躍を心から祈念します。私は広島で、テニス、サックス、そして市民活動の生活スタイルを開始しています。秋にはいつも加えていただいている「広島支部」総会での再会が楽しみです。



黒木幹夫先生

- ① 昭和56(1981)年
- ② 法文学部人文学科
- ③ 倫理思想史

出 生 昭和23(1948)年
出身大学 上智大学
最終学歴 大阪大学大学院文学研究科前期課程 (1978年修了)
学位・称号 文学修士
所属学会 日本哲学会、日本宗教学会、人体科学会、日本倫理学会、日本思想史学会、比較思想史学会

本年3月末を以て定年退職しましたが、現在は研究室の後片付けに手間取っています。退職までの都合6年間は、副学部長ないし学部長としての職務で忙しく、その対応に精一杯で、落ち着いてものを考えるゆとりもありませんでした。研究面でも、いったんは集中してものを考えようとしても、常に中断を余儀なくされる始末でした。したがって、退職後における第二の人生についても、全体としては判断中止せざるをえない状況でした。

退職後の今は自由な時間も多くなり、幸い前学期の間は研究室の後片付けという名目で研究室を使わせてもらっているので、本とかノートの整理をしながら、中断せざるをえなかった研究テーマを再発見しつつ再考する余裕も出てきました。思わぬ気づきもあり、有意義な毎日を過ごしています。これからは毎日が「人生の日曜日」です。整理しながら片付けをしていると、研究者生活のあれやこれやが思い起こされ、愛媛大学における32年間もおのずと総括されるような気がします。第二の人生の計画は、その総括の後にします。

実はいろいろな経緯があって、もともと教師になるつもりはなく、まして組織の長になるなど、想像だにしないことでした。ところが、意に反してそれが現実になり、まずは全体を観ることで臨機応変に対応することを心掛け、細部については成り行きに任せてきましたが、やはり充足感とは無縁でした。第二の人生では、それをしっかりと取り返すつもりです。同窓会のさらなる充実を祈ります。

退職された教員の方々

- ① 愛媛大学に来られた年
- ② 所属の学部学科
- ③ 研究・専門について



小淵 港先生

- ① 昭和55(1980)年
- ② 法文学部総合政策学科
- ③ 財政学

出生 昭和22(1947)年
出身大学 香川大学
最終学歴 京都大学大学院経済学研究科修士課程
(1978年修了)
学位・称号 経済学修士
所属学会 日本財政学会、経済理論学会、日本地方
財政学会、国際財政学会、生活経済学会、
中四国商経学会

私が愛媛大学に赴任した1980年10月当時、法文学部は小規模で、私の属した法学科経済学専攻は学生約20人、教員10人という小所帯であった。

翌年の2月だったと思う。経済学専攻の学生、教員が全員参加し、大学のバスで1泊2日の南予への合宿研修が行われた。寒い京都からやって来た私は、菜の花の咲く暖かい風景を想像して楽しみであった。初日は、伊予市で花カツオの工場、大洲で家庭電器の工場を見学し研修は順調だった。ところが、バスが八幡浜から三崎半島に入る頃から天候が悪くなり、ついには激しい吹雪となった。当時、国道197号線は「行くな国道」と言われた悪路であった。吹雪で見通しの悪い中、大型トラックとすれ違う度に皆から悲鳴が上がる有様だったが、なんとか目的地の三崎に到着した。港の近くの旅館に泊まり、その晩は懇親会で楽しい一時を過ごしたが、外では強風を伴って雪が降り続いていた。

夜が明けると、あたりは一面の雪である。その日見学予定の伊方原発では職員が出勤できないので、取り止めとの連絡が入った。バスも動かないので松山へ帰ることも出来ず、仕方なくもう1泊することとなった。三日目の朝、ようやく雪はやんだが寒さで雪が溶けず、バスでは帰れないため、三崎発八幡浜行き的高速船に乗ることになった。八幡浜港に着くと、ここも大雪である。国鉄に乗り換え昼過ぎに松山に着くと、穏やかな天気、雪はかけらも見当たらない。我々が足止めをくっている間に教授会が開催されていたため、文学科や法学専攻の同僚達からは、雪を口実に教授会を欠席したと、からかわれたのであった。

和気あいあいの合宿研修と思ってもよめ南予の大雪、赴任早々の懐かしく楽しい思い出である。



小林敬和先生

- ① 平成16(2004)年
- ② 法文学部総合政策学科
- ③ 刑法

出生 昭和23(1948)年
出身大学 名城大学
最終学歴 名城大学大学院法学研究科修士課程
(1972年修了)
学位・称号 博士(法学)
所属学会 日本税法学会



牧 秀明先生

- ① 昭和53(1978)年
- ② 法文学部人文学科
- ③ ドイツ言語文化

出生 昭和22(1947)年
出身大学 上智大学
最終学歴 東京都立大学大学院人文科学研究科
(1975年修了)
学位・称号 文学修士
所属学会 日本独文学会、日本独文学会中国四国支部学会、オーストリア文学研究会



総合研究棟2とシダレザクラ

同期会 42年ぶりの再会

1970(昭和45)年 文理学部人文学科乙卒業



昭和45年卒業といっても、実際にはその翌年以降に卒業した人もおり、実質的には昭和41年入学の60人余りが同期生というわけです。

このメンバーによる同期会はこれまで一度も開かれたことがありませんでしたが、「仲間のほぼ全員が65歳以上になり、仕事も一段落しているはずだから、一回集まってみないか」という話を小池昭彦氏（法文学部同窓会副会長）が持ち出し、地元松山に住んでいる5人が話し合って計画を進めました。

当日は「懐かしい母校を見学したい」という12人が正午に大学に集まり、まずはセトリアンで昼食。43年前の学生食堂とは比較にならないほどきれいなレストランに驚きながら、自己紹介を兼ねて軽くビールで乾杯。大学内でアルコールが出ることに、これもびっくりしたり感心したりしながら、楽しい時間を過ごしました。その後、愛大ミュージアムを見学。大学の持つ学術的・

文化的財産の莫大なことを知り、母校に対する誇りを改めて大きくしました。

夕方からは場所を道後のホテルに変え、新たに11人が加わり23人で懇親会がスタート。全員が卒業後の人生や現在の生活ぶりなどを披露しました。関東や関西の同窓会支部、あるいはゼミや寮の仲間で卒業後も会合を持っていた人たちもいましたが、40数年ぶりの再会に、名前と顔が一致しない人が続出。最初はなかなか会話が噛み合わないこともありましたが、時間が経つにつれて若き日の思い出が次々とよみがえり、深夜まで旧交を温めあいました。

同期生のうち、5人が鬼籍に入っており、3人とは連絡が取れずじまいでした。次回の集まりについては未定ですが、「それまでお互いに元気でいような」と声を掛け合って再会の日を楽しみにしながら解散となりました。
(平成24年10月27日開催・吉田 滋)



放送大学で学んでみませんか？



放送大学はテレビ等の放送や、インターネットを使って自宅で学べる通信制の大学です。

学位取得はもちろん、キャリアアップや自己実現など、生涯学習を目指す方をサポートします。

放送大学では心理学、福祉、文学、歴史、情報など、幅広い分野を学ぶことができます。

出願期間(予定)

○教養学部・大学院（修士選科生・修士科目生）

4月入学：12月1日～2月28日

10月入学：6月15日～8月31日

○大学院：修士全科生（年1回募集・選考試験あり）

8月中旬～8月下旬

約300科目と一流の講師約1,000人から学べます。1科目からでも学べます。



資料を無料で差し上げております。お気軽に、愛媛学習センターにご請求ください。

放送大学

放送大学 検索

〒790-0826 松山市文京町3番
放送大学愛媛学習センター
TEL 089-923-8544

同窓会 提供講座『社会と人間』

6年目となる2012(平成24)年度提供講座は、法文学部同窓会の全面的支援の下、法文学部の卒業生を講師として下記の日程で開催されました。

例年通り、後期の毎週木曜日・第5限目に開催し、全15回、27人の講師にご協力いただきました。今年も100人近い学生が受講し盛況でした。2013年1月24日(木)には、お手伝いをしていただいた現役学生に感謝状を贈呈し、講師陣も交えて校友会館内のレストラン「セトリアン」で反省会と懇親会を行いました。

回	テーマ	担当	担当講師名	卒業年・学科
1	ガイダンス	10/4	小池 昭彦	1970・文経
			山本 求	1979・文
2	経営者として挑戦	10/11	新矢 一	1987・文
			渡部 雅泰	1985・経
3	金融業で働く	10/18	峯山 敦	1999・経
			川添 理央	2010・総政
4	警察・消防で働く	10/25	上田 憲二	1976・法
			寒作 典員	2000・総政
5	アナウンサーとして働く 放送業界で働く	11/1	後藤 珠希	2006・総政
			小田 歩	2005・総政
6	保険業界で働く (都会で働く)	11/8	高崎 泰典	1968・経
7	地域農業振興への挑戦	11/15	杉本 隆	1985・経
			鈴木 靖彦	1986・法
8	働く女性の現在	11/22	重松 直江	1994・経
			楊 泓	2002・総政院
9	20代の先輩と語る	11/29	山本 文	2005・総政
			土井菜々子	2007・人文
10	小売業で働く	12/6	土井 明人	1998・経
			鈴木 清華	2007・総政
11	教育の現場で働く	12/13	清家 信孝	1975・文
12	図書館・報道業界で働く	12/20	加藤 太啓	1999・法院
			天野奈緒也	1998・文
13	公務員として働く	1/10	松本 亜紀	1993・法
			木戸 一成	2002・人文
14	愛大職員として働く	1/17	吉田 一恵	1979・法
			大本 盛嗣	2001・人文
15	まとめ	1/24	森 孝明	1968・文独

2012年度提供講座の学生に対するアンケート結果

興味深かった講義

- 1位 公務員として働く
- 2位 働く女性の現在
- 3位 警察・消防で働く
- 4位 教育の現場で働く
- 5位 アナウンサーとして・放送業界で働く

満足度

大変満足している	51.5%
やや満足している	47.0%
若干満足している	1.5%
不満足である	0.0%

感想

社会人の大変さや心構えを学ぶことができた／社会人とふれ合う機会が少ないのでうれしい／就活を考える上で大変役に立った／卒業生なので親近感を抱いて話を聞きたかった／もっと踏み込んだ内容の講義を聞きたい／あまり知られていない業種の話を知りたい／3年くらいで転職した人の話を聞きたい／職場環境・休暇・給与について聞きたい／座談会形式にしてみても面白いと思った／授業が終わった後で講師の方と話せる時間があればよい

平成25年度 提供講座・寄付科目開講のお知らせ

▶2013年度 法文学部提供講座 開講計画

回	テーマ	担当	担当講師名	現職
1	ガイダンス	10/3	池川 孝文	法文学部同窓会副会長(元 財団法人愛媛県母子寡婦福祉連合会)
			畠中 節男	法文学部同窓会監事(株式会社コンピュータサービス 代表取締役)
2	公務員として働く	10/10	大西 孝史	松山市役所産業経済部観光・国際交流課主査
			堀出 武志	松山市役所福祉事務所生活福祉業務第2課 主任
3	税理士として働く	10/17	河内 泉	河内泉 税理士事務所
			泉 涼子	税理士法人 ジャパンビジネスパートナー
4	警察・消防で働く	10/24	上田 憲二	前松山東警察署長(愛媛県信用農業協同組合連合会参与)
			寒作 典員	松山市東消防署 予防担当主査
5	経営者として挑戦	10/31	宮首 賢治	株式会社インテージ 社長
6	映画業界で働く	11/7	住田 陽一	日活映画 映像事業部門 版權営業グループ ライツ営業チーム
7	教育の現場で働く	11/14	清家 信孝	元 愛媛県立八幡浜高等学校校長
			子川小百合	松山西中等教育学校教諭
8	働く女性の現在	11/21	重松 直江	重松直江税理士事務所
			楊 泓	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学 国際交流課
9	小売業で働く	11/28	米澤佑佳子	株式会社レディ薬局
			三浦 弘行	株式会社レディ薬局
10	金融業で働く	12/5	永田 充孝	伊予銀行 本町支店
			山中 幸恵	伊予銀行 道後支店

* 同窓会員の方は聴講無料です。詳細は教育支援課法文学部チーム(TEL. 089-927-9220)までお問い合わせください。また同窓会ホームページ(<http://koyu.ehime-u.jp/houbun/blog/>)でもご覧いただけます。

回	テーマ	担当	担当講師名	現職
11	愛大職員として働く	12/12	河野 太志	愛媛大学 広報課 副課長
			竹本亜希子	愛媛大学 教育支援課 学部・大学院統括チーム
12	地域農業振興への挑戦	12/19	渡部 祐衣	ななおい梅組合研修生
13	アナウンサーとして働く・放送業界で働く	1/9	後藤 珠希	フリーアナウンサー
			小田 歩	株式会社放送技術社
14	20代の先輩と語る	1/16	渡部 文	主婦(元 NPO法人いよこころザン大学)
			竹下 愛	NPO法人Eyes 代表理事
15	まとめ	1/23	森 孝明	法文学部同窓会副会長(放送大学 愛媛学習センター長)

▶2013年度 法文学部寄付科目 実施状況

学期	学 科	科目名	時間割	担当教員
前学期	総合政策学科	経営学特講 集中		中川 圭輔(下関市立大学経済学部講師)
	人文学科	伝統文化論	水曜3限	西尾 和美(非常勤講師) 畑守 泰子(非常勤講師)
後学期	総合政策学科	総合政策特講	木曜6限	山本 久美(元SRSコンメンタート代表取締役)
	人文学科	国際交流の基	月曜5限	敷村 弥生(非常勤講師 まつやま国際交流センター所長) 高野 志野(愛媛大学国際教育支援センター准教授) 宮田さつき(非常勤講師)

講師の方に感想をお聞きました！

第8回「働く女性の現在」講師

重松直江税理士事務所

重松 直江



私は平成6年に大学を卒業し、社会人を経て入学した大学院を平成14年に修了しました。現在、松山市内で税理士事務所を開業しております。

今回は「働く女性の現在」というテーマで、大学を出た22歳のときから現在までの私の人生を、4つの転機に分けてお話をさせていただきました。

「働く女性」というと、一昔前までは「キャリアウーマン」や「バリバリ働く女性」というイメージがあったかもしれませんが、今や女性が社会で働くことはごく当たり前のこととなっています。仕事・出産・育児・家庭の両立は想像以上に大変なことも多く、家族や地域のサポートは不可欠だと実感しています。

私はこの2年間、仕事をしながら妊娠、出産を経験し、現在は仕事と育児を楽しむ毎日です。大変なことが多いのも事実ですが、仕事を通してより社会との関わりを持ちながら、子どもを愛しみ、育てる喜びを感じています。女性が仕事をしながら出産や育児を行うことは女性だけの問題ではなく、パートナーである男性も共に考えていかなければならないテーマです。しかし、私自身もそうでしたが、この事実は結婚前は実感しにくいものでし、実際、講義の中でこの話をした時の男子学生のハッとした顔はとても印象的でした。

学生の皆さんもいつか通るであろうこの道に差し掛かった時、そういえばこのことを言っていた人が居たな、と思ってもらえれば嬉しいです。

講義後、声を掛けてきてくれた数名の学生。その日の夕方にスーパーで買い物をしている時に「今日の講義聴いていました！とっても良かったです！」と満面の笑みで話しかけてきてくれた留学生。「仕事と育児について初めて真剣に考えました」とフェイスブックでメッセージを送ってきてくれた学生。その行動力と、ストレートに気持ちを伝えてくれたこと、本当に嬉しかったです。

機会があれば、仕事と家庭、育児の両立に奮闘しているリアルな声をまたお届けできればと思います。皆さんの前でお話することにより、改めて自分自身を見つめ直すことができました。このような素晴らしい機会をいただき心から感謝申し上げます。

第8回「働く女性の現在」講師

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学国際交流課

楊 泓



このたびは、貴重な機会を与えていただき、誠にありがとうございました。今回は「働く女性の現在」とのテーマで現在の仕事、現在の仕事に至るまでの思い出話を紹介させていただきました。

私は中国天津出身です。中国の天津外国語学院（現天津外国語大学）日本語学部を卒業してから、天津に進出した日系企業で7年間働きました。7年間のうち、日本的経営の現地化について興味を持つようになり、「日本的経営」の奥義を勉強したくて、愛媛大学への留学を決めました。愛媛大学大学院修了後、東雲学園の事務職員として、国際交流という部署で主に留学生の日本における留学生生活の全般業務をしています。その他に、東雲エクステンションセンターの社会人講座で「話せる中国語」を担当しています。また、東雲の非常勤講師として大学生、短大生に中国語を教えています。

中国の天津から日本の愛媛までずっと夢を追いつけた私にとっては、「人と人のきずな、誰かの役に立てることの喜び、誰かが私を助けてくれた感動」というような目に見えないものが、仕事で得た最も大切なものだと思います。

講義では、私の拙いお話を最後まで熱心に聞いて下さった学生の皆さんに感謝しています。講義の最後に引用させていただいたドラッカー教授の有名な「三人のレンガ積み」の話のように、是非学生の皆さんにも「目に見えるもの」ばかりに捕らわれず一日一日を充実させることができるように祈っています。

最後に、私のような者にこのお話をするチャンス、恩返しのチャンスを与えて下さった同窓会の皆様、企画運営に携わっていただいた皆様に感謝いたします。

同窓会 提供講座 『社会と人間』

報告

講師の方の感想(続き)

第2回「経営者として挑戦」講師

(株)シンデン代表取締役
新矢 一



社会の一員として

昨年講師経験されたJ A愛媛中央会黒河氏の紹介によりこのたびお話しさせていただく機会を頂戴しました。講義資料を作るプロセスは、学生時代や卒業後の社会活動を振り返る貴重な経験となりましたこと、この場をお借りしまして企画運営に携わられた皆様方に感謝申し上げます。

卒業後、学生時代に部活を通じて知り合った家内の実家が営む電気工事業を生涯の仕事と決意して、自らの立ち位置を確立させながら取り組んだマネージメント分析や革新の成果を、数々の失敗談を含めお話しさせていただきました。また、同世代の青年経済人が集まる(社)松山青年会議所という組織で俳句甲子園やお城まつりの運営に携わり、その後NPO法人俳句甲子園実行委員会初代会長や松山市ことばのちから実行委員長を務めさせていただいた経験などもお話しさせていただきました。お伝えしたかったのは、さまざまな試練と思われる出来事は、タイムリーで的確な判断ができれば何物にも代えがたい時々的好機に変えられること。そのためには、携わる限りは自分にしかできないオリジナルな発想と行動を目指す志を常に抱くこと。

今回の機会をいただいたことで、私自身、これから一人の企業経営者としては、会社で共に働くメンバーとその家族にまで対応できる持続的なサービスの拡充を、また社会の一員としては、社会的に必要なとされる活動を可能な限り継続して続けていくことの決意を新たにさせていただきました。

最後になりましたが、ガイダンス終了後冒頭の講義にもかかわらず耳を傾けていただいた学生の皆様方へ。何事も楽しんで、前向きにチャレンジを！皆様お一人お一人の素晴らしい今後の活躍に期待します。

第4回 愛媛大学ホームカミングデイ 開催のお知らせ

平成25年11月9日(土) 15:00～

15:00～ 式典(南加記念ホール)

○特別講演 酒向 正春 医師(医9期生)

NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」出演
～希望のリハビリ、ともに闘い抜く～

17:00～ 懇親会(大学会館1階)

※当日、学部・学科・サークル等ミニ同窓会(10人以上)の開催を応援します！(実施経費1人あたり2,000円を援助します。)

条件や申請書など詳しいことは、下記連絡先にお問い合わせいただくか愛媛大学HP、愛媛大学校友会HPをご覧ください。



第3回ホームカミングデイ(平成24年)で講演する武田大作氏(ロンドンオリンピックボート代表)

《お問い合わせ》

愛媛大学総務部総務課総務・法規チーム

電話：089-927-9016 FAX：089-927-9025

メール：soumu@stu.ehime-u.ac.jp

1976年卒業 清家 信孝

【文学科国語国文学専攻】

入学した昭和47年は、全国で吹き荒れた大学紛争の名残りが愛大構内の随処に見られ、幾分緊張した雰囲気での大学生活のスタートでした。しかし、比較的順応性の高い私は、二の足を踏んでいたサークル活動にも入部後すぐに慣れましたし、上手に先輩に取り入って情報を手に入れ、自分に合った授業の時間割を組んでは効率的に単位取得を目指すなど、実に要領よく毎日を泳いでいたような気がします。

当時、他県から進学した学生たちが「松山は温暖で人情も厚く、全体に落ち着いていて実に住みやすい」と喜んでいました。痛快小説「坊っちゃん」で松山を語る夏目漱石のその筆致のあちらこちらに、どこか他所とは違う、温もりのある空気や時の流れが読み取れますが、それは今も感じられます。

そのゆったりとした環境の中にどっぷりと漬かり、大学生活を存分に謳歌していた私は、およそ「学生」と胸を張れるような優等生ではなく、試験期間のみを汲汲として何とか及第しては安堵するのが常でした。

国語国文学の研究室では圧倒的に女子学生が多く、占領(?)された部屋はいつしか賑やかな彼女たちの談話室と化し、我々少数派の男子学生は、隅に追いやられ文句の一つも出せない有り様。ある日、業を煮やして「沈黙は金!」と書いた貼紙で抵抗したものの、何の効果もなく一笑に付された、そんな思い出も懐かしく甦ってきます。

→ 体操競技部山口遠征にて（中央が私。後方のザビエル聖堂は焼失のため現存せず）



↑ 提供講座で「教育の現場で働く」をテーマに学生に講義する
(2012年12月13日)

素晴らしい教授陣の中でも私が特に思い出に残っているのは、松山市立子規記念博物館の初代館長を務められるなど、正岡子規研究の第一人者でいらっしゃる今は亡き和田茂樹先生です。初対面の折に「清家姓は南予に多いのだが、君も南予出身かね?」と優しく語りかけられ、嬉しく思った記憶があります。小学生の時、松山への修学旅行の折に、子規の『散策集』を買い求め少なからず興味を抱いていましたから、先生に付いてもう少し勉強に勤しむべきだったのですが、全く「後悔先に立たず」です。

とにかくサークル活動に夢中になり、決してレベルは高くなかったのですが、数々の活動を通じて友人の輪を広げ、大会に出場したり体連行事に参加したりすることが楽しくて仕方がなかった毎日ですから、学業が疎かになるはずはです。各先生方にとっては不肖の弟子であったことを申し訳なく思っています。

その体操競技部は充実した活動を続けており、私もできる限り後輩との交流の機会を持ちたいと思っているのですが、仕事の都合でなかなか思うようには会えません。

体操競技部の活動の中で、もう50年近く続いているのが「松山—大洲間徒歩旅行」です。当時の私は、これを「とほとほ60キロ」と名付けていましたが、成人式の行事として、水泳部の寒中水泳とともにマスコミにも取り上げられたものでした。今でも、女子部員もOBも徹夜で歩き通しており、脈々と受け継がれていることを皆さんにも紹介しておきましょう。

私はこの春で定年退職を迎えましたが、高校教師として必要な知識・体力・精神力、そしてコミュニケーション力の源を養成してくださった母校愛媛大学に心から感謝しております。母校のそして法文学部の益々の御発展、同窓会員諸氏の御活躍・御健勝を祈念申し上げ、拙文を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

支部だより

四国支部

第7回総会報告

2012年11月17日、愛媛大学内にて法文学部同窓会四国支部第7回総会が開催されました。昨年は本部の3年ごとに開催される総会と合同で、懇親会等も開催しました（本部総会報告をご覧ください）。

第3回お花見について

2013年4月6日、愛媛大学に集合し、奥道後バスの送迎でホテル奥道後内の離れでお花見を開催しました。県外からの参加者も多く25名以上が参加して、奥道後の温泉と雰囲気を楽しみました。会場の雰囲気も最高で来年も下記のスケジュールで開催予定です。



ホテル奥道後 別館 竹寿庵にて

第8回総会の案内

今年は例年のような総会に戻ります。下記の予定で総会・講演会及び懇親会を開催しますので、ぜひご参加ください。

日 時：2013年11月8日(金) 18:00より

場 所：ピュアフル松山(旧勤労会館) 4F 孔雀の間にて

支部総会

18:15～ 報告事項・協議事項等

報告事項

1. 他支部総会交流報告 東京・大阪・広島他
2. 2012年度 活動会計報告
3. 理事会・役員会他報告
4. その他

協議事項

1. 来年度の活動について
＊お花見 2014年4月5日 奥道後にて他
2. 2014年度予算と本年度見込み
3. 役員の変更について
4. その他

総会記念ミニ講演会ご案内

演題：「愛媛大学資料から・松山のドイツ兵捕虜の歴史」

講師：森 孝明（放送大学愛媛学習センター所長）

18:30～ 講演会25分 質疑5分

講師の森先生は愛媛大学文理学部を卒業後、法文学部長などをされて退官。本部の同窓会長をされながら、現在愛媛大学内にある放送大学のセンター長もされてます。今回、第一次世界大戦により中国・青島から捕虜となり松山に来たドイツ兵捕虜に関する歴史的なお話をお聞きする予定です。愛媛大学ミュージアムにて関連イベントも予定されています。

休憩後、記念撮影

19:10～ 懇親会

例年通りビンゴゲームや福引

20:50 終 了

懇親会費 5,000円（予定）

出 欠 同窓会報の参加通知葉書で10月20日までにお願います。

問合せ先 詳しくは下記事務局まで

第4回同窓会お花見のご案内

今年も奥道後ホテルで開催したところ、多くの方に参加いただきありがとうございます。20名以上でバスの送迎となりますので、下記の概要をご参考に知り合いの方をお誘いの上、ご参加ください。

日 時：2014年4月5日(土)

12:50 愛媛大学法文学部前集合

13:00 奥道後バスで出発

(帰りも大学までバスが出る予定)

※お風呂等の関係で公共交通機関等をご利用の方は、各自バス・タクシー等で乗り合わせの上ご参加ください。

場 所：ホテル奥道後 TEL 089-977-1111

松山市末町257 (道後より車で約15分)

(会場は土曜日のため開放されています)

※参加申し込みを頂いた方及び本年度の参加者には、桜の開花状況等を見ながら、3月下旬(23日ごろ)に葉書にて最終案内をする予定です。会場は予約済みですが、お花見の条件等により、やむを得ず変更する場合があります。その場合も関係者には事前連絡予定です。

四国支部事務局連絡先

〒790-0047 松山市余戸南1-6-26 (玉井方)

担当 副支部長 玉井周平

携帯 090-8973-7650

E-mail tousui78@yahoo.co.jp

広島支部

広島支部の第8回同窓会は、平成24年10月20日(土)ホテルグランヴィア広島『ヴァンヴェール』にて36名の参加者で開催されました。

当日は、同窓会本部から鳥生事務局長が、東京章光会から校友会副会長兼理事の高崎顧問が、四国支部からは新谷副支部長が、大学からは法文学部総合政策学科本田博利教授のご参加をいただきました。

まず、岡田支部長の挨拶により定期総会を行った後、昭和34年卒柳原博孝氏の乾杯の音頭により懇親会を行いました。参加者の紹介や本田先生から愛媛大学の様子について、広島支部の藤田典子幹事から近況として広島市こども未来局のお話をいただいたり、事務局から今回ご都合で参加できなかった同窓生のメッセージを配布させていただいたりして、とても楽しい会となりました。

最後の締めくくりでは、『愛媛大学学歌』、逍遙歌『若葉の古城』『三光寮を歌う』を声高らかに歌い上げ、名残を惜しみつつ、来年もまたお会いしましょうとおおよそ2時間の同窓会は散会となりました。世代を超えた交流を通じて、より同窓会の意義を高めていただいたように思います。

今後も、楽しい会にすべく臨んでまいりますので、より多くの方のご参加をお願いしたいと思います。



次回は平成25年10月19日(土)、11時よりクルージング船『銀河』にて、宮島や広島湾のランチクルーズをしながら開催する予定です。

役員

顧問	竹本 義昌 (昭和33年文理学部 人文乙卒)
顧問	楠本 淳 (昭和35年文理学部 人文乙卒)
支部長	岡田 禎之 (昭和40年文理学部 人文乙卒)
事務局	難波 宜久 (昭和62年法文学部 法学 卒)
幹事	村上 道機 (昭和43年文理学部 人文乙卒)
幹事	藤田 典子 (昭和53年法文学部 法学 卒)

(連絡先) 難波携帯 090-7777-6671

関東支部 [東京章光会]



法文学部同窓会関東支部 (東京章光会) 第49回総会は7月20日(土)、例年通り愛媛大学サテライトオフィス東京のあるキャンパスイノベーションセンターにて開催されました。

当日は大学より宮崎学部長、上山准教授、同窓会広島支部の岡田支部長、関西支部 (にきたつ会) の岡本支部長、四国支部玉井副支部長、また、各学部同窓会東京支部長他ご来賓を含め約60名の方々にご出席いただきました。

総会議事終了後、元法文学部長で放送大学愛媛学習センター所長 (法文学部同窓会長) の森孝明先生による“松山の歴史発見ー「青島守備軍司令部」寄贈ドイツ図書ー”と題した講演が行われました。

第一次大戦当時、多数のドイツ図書が東京、京都の各帝大等と並んで旧制松山高等学校にも寄贈された経緯を数多くの資料を使用して説明がなされ、会員の皆様も熱心に聴講しておられました。

第2部の懇親会は会場を近くの“道灌かがり”に移して行われました。

宮崎学部長、馬場農学部同窓会 (ユーカリ会) 東京支部長のご挨拶、旧制松山高等学校卒の金崎氏を始めご来賓の

方々のご紹介、岡田支部長による乾杯のご発声の後、福引抽選会、松山市東京事務所の福田氏によるPR等をはさんで約2時間なごやかに、かつ賑やかに懇親いたしました。

特に今年はさまざまな機会をとらえて若手卒業生への働きかけを行なった結果、卒業後数年の若手も含めて多数参加してくれ、より幅広い年齢層での交流の場となった事は有意義であったと思っております。

東京章光会も来年は創設50周年を迎えます。1年後にまた本年にも増して多数の会員、ご来賓にお集まり頂き、盛大に記念大会が開催できるよう役員・幹事一同準備を進めて参りたいと思っております。

(昭和54年経卒 森脇孝典 記)

関西支部 [にきたつ会]

平成25年度 総会のご報告

にきたつ会は平成25年7月21日(日)に、ラマダホテル大阪におきまして平成25年度総会を開催いたしました。

当日は猛暑のうえ、また参議院選挙の投票日とも重なり出席者の減少が懸念されましたが、同窓会本部の小池昭彦副会長、東京章光会の阿部仁会長、四国支部の宇都宮真由美支部長、広島支部の岡田禎之支部長のご来賓の方々にご出席を賜り、約40名の出席者をもって盛大に開催することができました。

総会に先立ち、大久保貫太郎氏 (37年法卒) から「愛媛大学・にきたつ会あれこれ」と題してご講演をいただき、歴史にそった興味深い話に出席者一同熱心に聞き入っていました。特に「にきたつ会」が昭和37年に設立され今年で51年の歴史を持つ同窓会であることを踏まえ、この伝統を守り育てていくことを全員が再確認いたしました。

続いて、総会に入り岡本会長の挨拶ののち、審議事項の業務報告・会計報告・監査報告がなされ全会一致で承認されました。

休憩ののち、懇親会に入りご来賓の方々のご紹介に続き、安藤雅夫氏 (32年経) による乾杯ののち懇親に入りました。

懇親の中で小池同窓会本部副会長からご挨拶をいただき、平田副会長の素晴らしい司会により会員による歴史談話やクイズ、熱唱等が続出し大いに盛り上がりを見る中、閉会の時を迎えました。最後に岡田広島支部長の好リードにより「学歌」・「三光寮を歌う」に続き御幸寮等で歌われていた「エンヤラヤー？」も大合唱し、来年の再会を約して総会・懇親会を終了いたしました。

最後に、来年度の総会に向け大きな課題である会員の増強に向けて活動していきますので、絶大なご指導・ご鞭撻をお願いいたします。

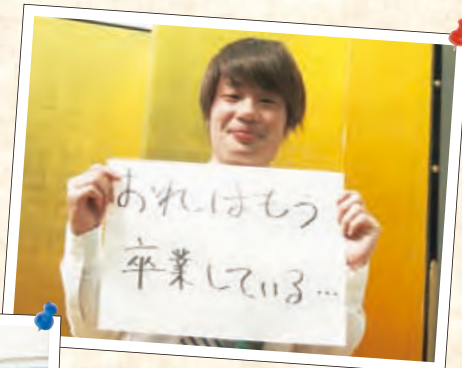
にきたつ会事務局



Graduation Memories



総合政策学科



卒業生数

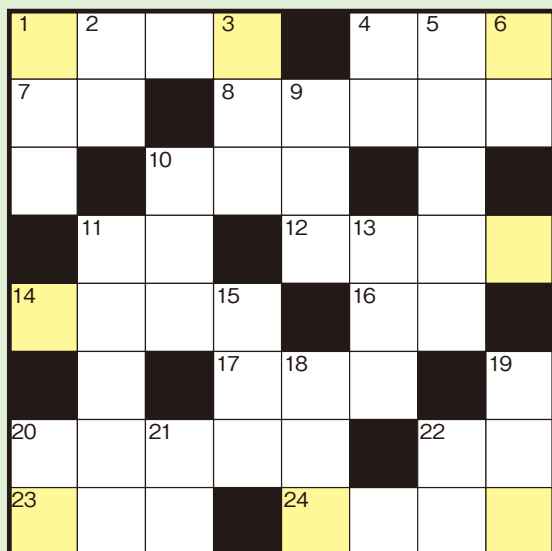
- ◆総合政策学科
昼間主284名 夜間主73名 (計357名)
- ◆人文学科
昼間主130名 夜間主56名 (計186名)



人文学科

問題

クロスワードの色がついた部分の文字を並べ替え、愛媛県に関わりの深いキャラクターと特産物の名前を答えてください。



(出題：H16卒・矢野彰大氏)

●ヨコのかぎ

- ① 二進数
- ④ 市の政治
- ⑦ ハワイの首飾り
- ⑧ 相撲の決まり手の一つ
- ⑩ ○○○の花
- ⑪ ↔アウト
- ⑫ every morning
- ⑭ 似た問題
- ⑯ 深い藍色
- ⑰ タテ13との繋がりを断つ
- ⑳ 新居浜市出身の声優
- ㉑ 後部
- ㉒ 地中で生活する虫。無一文の俗称
- ㉓ ジャングルの王者

応募方法

同封の応募ハガキに正解をご記入の上、**2013年12月15日まで**に本会までお送りください。

賞品

図書カード1,000円分 20人

第16号 パズルの答え

正解：サッカー



【解答】

前回パズル当選者【敬称略】 応募総数253通 解答者178人中、正解者169人

図書カード1,000円分 (20人)

塩飽 義久(S35)、桑原 誠一(S48)、越智 園子(S51)、山下 忍(S53)
伊勢元忠伸(S60)、西本 秀史(S63)、忽那みどり(H3)、野間 英和(H4)
佐藤 陽子(H7)、中越 千陽(H9)、前川 元吾(H10)、芝崎 尚史(H11)
松本 琢(H12)、重延 友美(H13)、藤原紀世子(H14)、薦本 美幸(H15)
新居田 梓(H17)、村上 由梨(H18)、佐野 瑞枝(H20)、金子万里香(H24)

- タテのかぎ
- ① サーフ、レシーフ、トス、アタック
- ② 幕末の大老、○○直弼
- ③ 雪
- ④ ソルト
- ⑤ 学内にあるイタリアンレストラン
- ⑥ ストーン
- ⑦ 映画。別名「シネマ」
- ⑧ シングルヒット
- ⑨ ファイアンセ
- ⑩ 外国
- ⑪ くじら
- ⑫ こちう
- ⑬ イスラム圏の名前で「愚者」という意味
- ⑭ 水脈
- ⑮ 忠臣蔵で討ち入りされた、○○上野介
- ⑯ タテ13に行くのに必要なことも

主なリクエスト

- 部活やサークルの記事が読みたい。●新しい施設をどんどん紹介してください。●様々な異なる分野・業界で活躍されている同窓の方々の記事。●現役学生の声や活動の様子をもっと載せてほしい。●大学が開発した商品の通販があれば利用したいので、ご紹介を。●ラフォーレ跡地の塩梅など、松山市内、大学周辺のこと、変化などあれば教えてください。●個人情報の問題をクリアして同窓会名簿を作成し、会員間の情報連絡を強化。●文房具などの質の良いオリジナルグッズを作ってはどうでしょう。●時には夜間主の卒業生の記事も特集してください。●学科ごととか卒業年ごとに同窓会を開いていただければ参加しやすいと思います。

感想

- 「大学の近況を知ることができて嬉しい」「懐かしく思う」「楽しみにしている」などのご感想が多数。●クロスワードパズル楽しませて頂きました。●ハナちゃんが元気そうで嬉しかった。●「会報が美しい」「写真が多く、読みやすい」「内容が充実している」「誌面がよく工夫されている」。●同窓会活動が活発で素晴らしいと思います。●年齢問わず楽しめる内容で素敵です。●中国人留学生の話は、中国に対する新たな認識になり、感謝しています。●ホームページをもう少しやわらかなものにしてはいかがでしょう。

パズル等の解答にいただいた個人情報は、同窓会事務局が適切に管理し、賞品の発送および名簿データの更新にのみ使用いたします。

役に立った記事、面白かった記事ランキング

1位は「御幸学生宿舎」(93人)、2位は「Photograph around Campus」(43人)、「ハナちゃん情報」24人、「太養軒復活」19人)、3位は「EHIME UNIVERSITY NEWS」(27人)、4位は「退職された教員の方々」(22人)、5位は「卒業生から」(19人)。以下、インタビュー(14)、同窓会提供講座報告(14)、支部だより(9)、パズル(8)、平成23年度卒業記念祝賀会(7)など。

【編集後記】

- 編集に初めて参加し、ベテランの編集委員の皆さんと楽しく議論して作業を進めて参りました。母校の各般に亘る最新の情報をお伝えしたく、ボリュウムをアップしましたので、最終ページまでご覧ください。(池川)
- 同窓会報のご感想をいただいた時も嬉しいのですが、法文学部就職相談員として、苦労した学生から受ける喜びの内定報告は、また嬉しさも格別です。(久保)
- 久しぶりにインタビューをさせていただいたのですが、懐かしい先生とお話するうちに、すっかり忘れていた20年前のことをいろいろ思い出しました。またみんなて飲みたいです。(野寄)
- 疲れたら温泉へ……休日は温泉三昧でエネルギー充電しています。松山には日帰り温泉がたくさんあるので幸せですね。(小林)
- 最近写真に凝っています。なかなか奥深く、趣味とも言えないレベルですが、会報の中にも撮ったものがちらほら……。自分の撮った写真が載っているのを見ると嬉しくなります。(後藤)
- 今回は私の原稿が最後のギリギリになってしまい、今泉先生と後藤さんのご協力無しにはできませんでした。おわりに打ち上げにワイン5本を持参しました。(山本)
- 3回目の愛媛マラソンを完走しました。ハーフを中心に年間7〜8回走っています。目の前にニンジンがないとサボるので、ちょうどいいペースです。(鳥生)
- 気ままに少しずつしまなみサイクリングを楽しんでいます。来島海峡・伯方・大島・因島……。おや？ なんか足りない？ 多々羅と大三島はまた今度。(戒能)

発行 2013年9月
発行 愛媛大学法文学部同窓会
編集 愛媛大学法文学部同窓会編集委員会
事務局所在地 〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学法文学部内
TEL 089-917-6376 FAX 089-917-6476
印刷 アマノ印刷